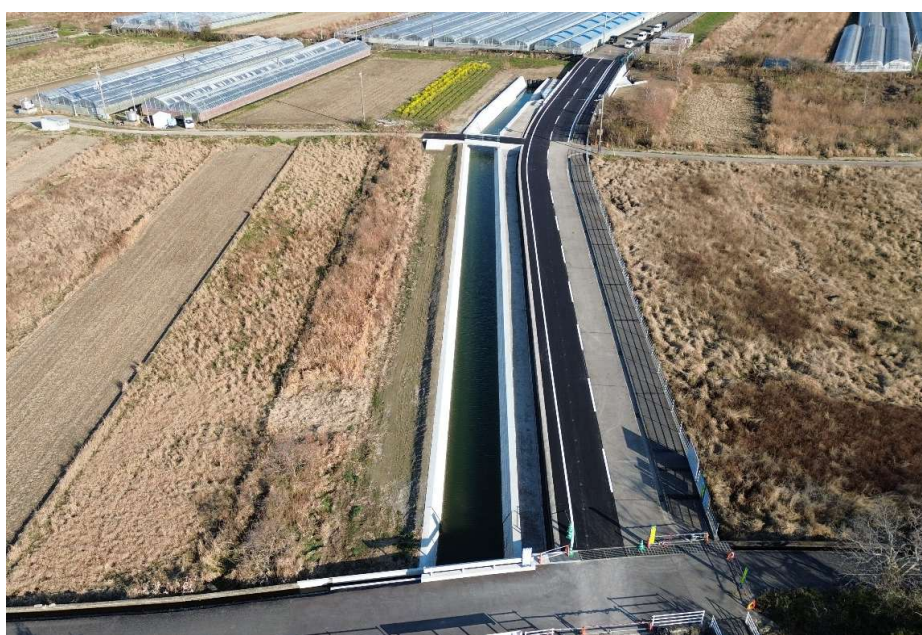


エコアクション21

環境経営レポート



仁ノ地区排水路整備工事(その6)

発行年月日 令和7年8月31日



株式会社 大藤

〒780-0964 高知県高知市長尾山町37番地1

TEL : 088-843-6141

FAX : 088-840-8447

E-mail : oto@dkmail.ne.jp

目 次

1. 組織の概要	1
2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日	2
3. 環境経営方針	3
4. 環境活動実施体制	4
5. 環境経営目標	5
6. 環境経営計画	6
7. 環境経営目標の実績	7
8. 環境経営計画の取組結果とその評価	10
9. 次年度の環境経営目標と環境経営計画	13
10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	15
11. 代表者による全体評価と見直しの結果	16
12. その他の取組	17



発行日 : 令和 7 年 8 月 31 日

発行責任者 : 環境管理責任者

次回発行予定 : 令和 8 年 8 月

1. 組織の概要

【事業所名】 株式会社 大藤
 (平成26年12月8日 (有)大藤工業より社名変更)

【代表者氏名】 代表取締役 大藤 友理

【所在地】 本社 〒780-0953 高知県高知市長尾山町37番1 (令和5年8月より本社移転)
 倉庫 〒780-0991 高知県高知市宗安寺530 (216㎡)
 機材置場 〒781-2120 高知県吾川郡いの町枝川字成福寺 (891㎡)

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者 専務取締役
 連絡先担当者 総務主任
 連絡先 TEL : 088-843-6141
 FAX : 088-840-8447
 E-mail : oto@dkmail.ne.jp



【事業内容についての簡単な記述】

建設業

許可年月日 令和2年05月26日
 許可番号 高知県知事 許可(特-2) 第 6432 号
 建設業の種類 土木工事業 とび・土工工事業
 舗装工事業 水道施設工事業

許可番号 高知県知事 許可(般-2) 第 6432 号
 建設業の種類 管工事業

産業廃棄物収集運搬業

許可番号 3900081990
 許可年月日 令和4年01月04日
 許可の有効期限 令和9年01月03日
 事業区分 収集運搬
 産廃の種類 (石綿除く) 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず
 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類
 運搬車両 4tダンプ=1台、3tダンプ=1台
 運搬数量 0 t /年(令和5年度)、0 t /年(令和6年度)
 収集運搬料金 3,000円/ t



【事業規模】

設立年月日：平成元年5月15日
 資本金 ：2000万円
 会計年度 ：6月～翌年5月

	令和4年6月～ 令和5年5月	令和5年6月～ 令和6年5月	令和6年6月～ 令和7年5月
売上高 (百万円)	285	216	432
従業員数 (名)	18	23	23
事業所敷地面積 (㎡)	104	172.89	172.89
事業所延べ床面積 (㎡)	78.65	82.99	82.99

※従業員数は
5月31日時点

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲（認証・登録範囲）】

株式会社 大藤 全社

事業内容 建設業

（土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、水道施設工事業、管工事業）

産業廃棄物収集運搬業

（廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・
コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類）

【レポートの対象期間】

令和6年6月 ～ 令和7年5月

【環境経営レポートの発行日】

発行 令和7年8月31日

【作成責任者】

環境管理責任者

【SDGs】

対象となる持続可能な開発目標（SDGs）範囲



④質の高い教育をみんなに

⑥安全な水とトイレを世界中に

⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに

⑪住み続けられるまちづくりを

⑫つくる責任つかう責任

⑬気候変動に具体的な対策を

3. 環境経営方針

【環境経営理念】

株式会社 大藤 は、建設工事において、地球環境を大切にすると共に環境に配慮した施工・資材の利用等に取り組み、未来の地球人に対して自然環境を引き継げることを目指し、環境負荷低減に努め、継続的な改善による環境経営を推進します。

【基本方針】

1. 事業活動により排出される産業廃棄物及び一般廃棄物の分別とリサイクルの促進に努めます。
2. 事業活動により発生する地域公害(騒音・振動)の低減に努めます。
3. 事務所及び現場における燃料(トラック・重機等)使用量の削減により、二酸化炭素排出量削減に努めます。
4. 事務所及び現場における電力使用量の削減により、二酸化炭素排出量削減に努めます。
5. 事務所及び現場における水使用量の削減により排水量の削減に努めます。
6. 事務用品及び調達資材のグリーン購入を推進します。
7. 環境関連法規及び条例等の遵守を行います。
8. 環境経営方針は広く従業員に周知徹底します。
9. 地域社会とのコミュニケーションを図り、地球環境に配慮した建設工事を行います。
10. 環境経営レポート等環境情報について広く外部公表いたします。

制定日：平成 22年 11月 10日

改定日：令和 2年 8月 1日

代表取締役

大藤 友理



4. 環境活動実施体制



環境管理システム 役割・責任・権限表

役割	役割・責任・権限
★ 代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システム実施に必要な人、設備、費用、時間、技術者を用意 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境経営目標、環境経営計画・環境活動実施体制を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境経営レポートの承認
★ 環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境経営目標・環境経営計画・環境活動実施体制を確認 環境経営計画の実績集計 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの確認
★ 事務所責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐 環境活動の実績集計 環境関連法規等の取りまとめ表の作成 環境関連法規等の取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境経営目標・環境経営計画・環境活動実施体制を作成 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備え付けと地域事務局への送付）
★ 現場責任者 倉庫・機材置場 管理者	<ul style="list-style-type: none"> 現場における環境経営システムの実施 現場における環境経営方針の周知 現場の従業員に対する教育訓練の実施 現場に関連する環境経営目標及び環境経営計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の手順書作成及び運用管理
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 環境経営目標

(1) 単年度目標

		過去5年 平均(基準) H25.6~H30.5	令和6年度 目標 R6.6~R7.5
完成工事高(百万円)		310	-
ガソリン使用量(L)		5,099(16.4)	4,740(15.3)
軽油使用量(L)		17,285(55.8)	16,080(51.9)
灯油使用量(L)		465(1.50)	430(1.39)
電力使用量(kWh)		11,171(36.0)	10,390(33.5)
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)		64,585(208.3)	60,060(193.7)
用水使用量(m ³)		104(0.34)	100(0.32)
産業廃棄物	排出量(t)	987(3.18)	920(2.97)
	再資源化率(%)	100.0%	100.0%
一般廃棄物	排出量(t)	0.221	0.210
	再資源化率(%)	100.0%	100.0%
環境負荷の少ない工事件数(件)		27/27	全件

※()内の数値は原単位(完成工事高百万円当り数量)を表す。

※購入電力のCO₂排出係数は、平成30年12月27日公表の四国電力の調整後排出係数0.535kg-CO₂/kWhを使用した。

※環境負荷の少ない工事件数

低騒音・排出ガス対策型重機の使用、型枠・工事看板への間伐材の使用、濁水防止対策の実施、
環境負荷の少ない材料の使用等

※化学物質は使用がないため目標設定なし

(2) 中長期目標

		過去5年 平均(基準) H25.6~H30.5	令和6年度 目標 R6.6~R7.5	令和7年度 目標 R7.6~R8.5	令和8年度 目標 R8.6~R9.5	令和9年度 目標 R9.6~R10.5
ガソリン使用量(L)		5,099	4,740	4,690	4,640	4,590
軽油使用量(L)		17,285	16,080	15,900	15,730	15,560
灯油使用量(L)		465	430	430	420	420
電力使用量(kWh)		11,171	10,390	10,280	10,170	10,050
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)		64,585	60,060	59,420	58,770	58,130
用水使用量(m ³)		104	100	100	90	90
産業廃棄物	排出量(t)	987	920	910	900	890
	再資源化率(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
一般廃棄物	排出量(t)	0.221	0.210	0.200	0.200	0.200
	再資源化率(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
環境負荷の少ない工事件数(件)		27/27	全件	全件	全件	全件

6. 環境経営計画

期間：令和6年6月1日～令和7年5月31日

項目		活動内容	担当者
CO ₂ 排出量削減	燃料使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・アイドリングストップ ・エコドライブ(急発進・急加速・急ブレーキ等防止) ・環境にやさしい買い物キャンペーン2024への参加 ・協力業者へのアイドリングストップ・エコドライブの呼びかけ 	環境管理責任者
		<ul style="list-style-type: none"> ・重機不使用時のエンジン停止の徹底 ・建設車両等自主点検・整備の実施 ・過積載防止 	現場責任者
	電力使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコンの温度設定 ・事務所：冷房 28℃、暖房 20℃ ・扇風機を優先使用 ・エアコンフィルターの定期清掃 ・非作業箇所の電灯の消灯 ・照明器具の定期清掃 	事務所責任者
用水使用量削減 (排水量削減)	<ul style="list-style-type: none"> ・蛇口の締め忘れの確認 ・現場での地下水・用水などの有効利用 	事務所責任者 現場責任者	
産業廃棄物排出量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・3S(整理・整頓・清掃)活動を進め、資材置き場での資材の定位置・定量化を推進 ・余剰資材の活用(余剰品登録) ・分別徹底とりサイクル ・再資源化处理業者に委託 	現場責任者	
一般廃棄物排出量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・書類作成時の1枚ベスト・2枚ベター指導・一般廃棄物の計量 ・両面コピー、裏紙使用、コピー枚数削減・使用済封筒の再利用 ・社内文書の電子化 ・分別徹底とりサイクル 	事務所責任者	
グリーン購入	<ul style="list-style-type: none"> ・エコマーク商品の調査 ・エコマーク商品の優先購入 	事務所責任者	
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所周辺の定期清掃 ・地元の清掃活動への積極的な参加 ・ロードボランティアの実施 	環境管理責任者	
環境負荷の少ない工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・低騒音・排出ガス対策型重機の使用 ・型枠・工事看板への間伐材の使用 ・濁水防止対策の実施 ・環境負荷の少ない材料の使用 	現場責任者	

7. 環境経営目標の実績

(1) 完成工事高(百万円)

	基準(過去5年平均)	今年度実績
対象期間	平成25年6月～平成30年5月	令和6年6月～令和7年5月
完成工事高	310 百万円	432 百万円

(2) 燃料使用量(L)

	基準	目標	実績	達成率	評価	
ガソリン	5,099	4,740	7,409	156%	×	遠方の現場が多く、ガソリン使用量が多くなってしまった。
(売上高当り)	(16.4)	(15.3)	(17.2)	(112%)	×	
軽油	17,285	16,080	12,936	80%	○	目標達成した。
(売上高当り)	(55.8)	(51.9)	(29.9)	(58%)	○	
灯油	465	430	0	0%	○	令和5年8月の事務所移転に伴い、灯油暖房機器を撤去した。
(売上高当り)	(1.50)	(1.39)	(0.00)	(0%)	○	

(3) 電力使用量(kWh)

	基準	目標	実績	達成率	評価	
使用量	11,171	10,390	6,515	63%	○	目標達成した。
(売上高当り)	(36.0)	(33.5)	(15.1)	(45%)	○	

(4) CO2排出量(kg-CO2)

	基準	目標	実績	達成率	評価	
排出量	64,585	60,060	54,050	90%	○	目標達成した。
(売上高当り)	(208.3)	(193.7)	(125.1)	(65%)	○	

(5) 用水使用量(m³)

	基準	目標	実績	達成率	評価	
使用量	104	100	12	12%	○	使用量と売上高当り共に目標達成した。
(売上高当り)	(0.34)	(0.32)	(0.03)	(9%)	○	

(6) 産業・一般廃棄物(t)

	基準	目標	実績	達成率	評価	
産業廃棄物	987	920	354	38%	○	使用量と売上高ともに目標達成した。
	(3.18)	(2.97)	(0.82)	(28%)	○	
再資源化率	100.0%	100.0%	100.0%	±0.0pt	○	使用量と売上高ともに目標達成した。
一般廃棄物	0.221	0.210	0.185	88%	○	
再資源化率	100.0%	100.0%	100.0%	±0.0pt	○	

(7) その他

	基準	目標	実績	達成率	評価	
環境負荷の少ない工事件数(件)	27/27	全件	12/12	-	○	目標達成した。

※1. 購入電力のCO₂排出係数は、平成30年12月27日公表の四国電力の調整後排出係数 0.535kg-CO₂/kWhを使用した。

※2. ()内の数値は、原単位(完成工事高百万円当り数量)を表す。

※3. 環境負荷の少ない工事件数

○低騒音・排出ガス対策型重機の使用

○型枠・工事看板への間伐材の使用

○濁水防止対策の実施

○環境負荷の少ない材料の使用

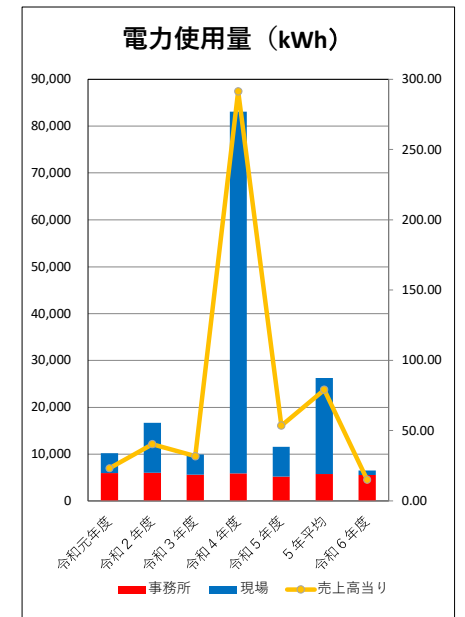
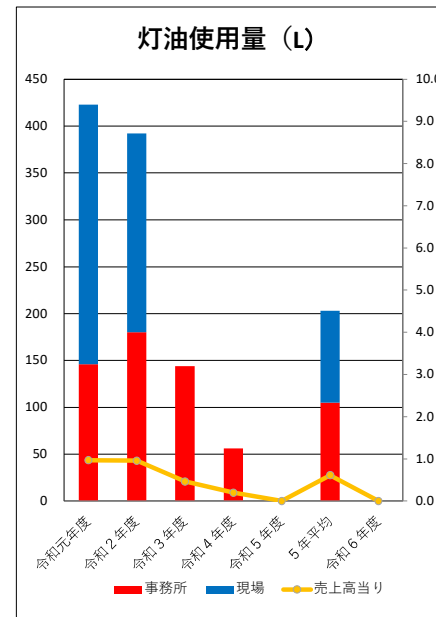
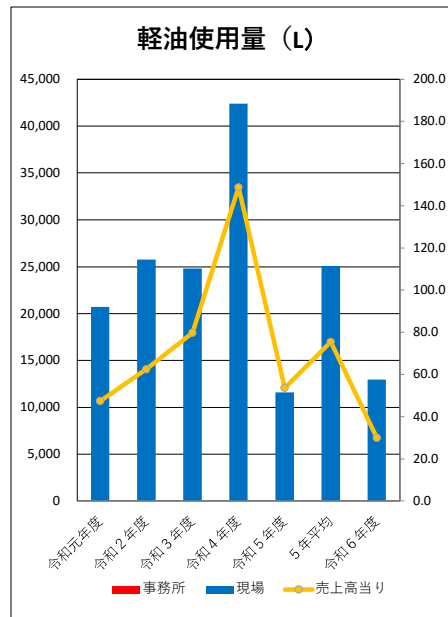
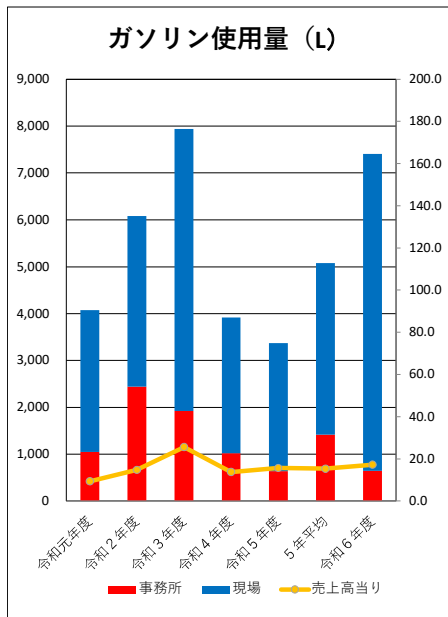
※4. 達成率：達成率 = (実績値 / 目標値) × 100 (%)

※5. 評価：達成 ○、未達成 ×

過去（平成29年6月～令和6年5月）の実績①

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	5年平均	令和6年度
		実績	実績	実績	実績	実績	R1～R5	実績
売上高(百万円)		437	412	311	285	216	332	432
ガソリン使用量(L)	事務所	1,047	2,439	1,919	1,018	632	1,411	645
	現場	3,026	3,640	6,020	2,899	2,737	3,664	6,764
	総量	4,073	6,078	7,939	3,917	3,370	5,075	7,409
	売上高当り	9.3	14.8	25.5	13.7	15.6	15.3	17.2
軽油使用量(L)	事務所	0	0	0	0	0	0	0
	現場	20,720	25,763	24,798	42,412	11,587	25,056	12,936
	総量	20,720	25,763	24,798	42,412	11,587	25,056	12,936
	売上高当り	47.4	62.5	79.7	148.8	53.6	75.5	29.9

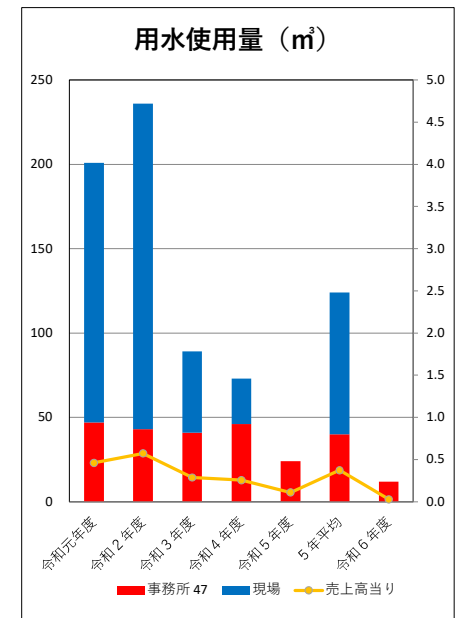
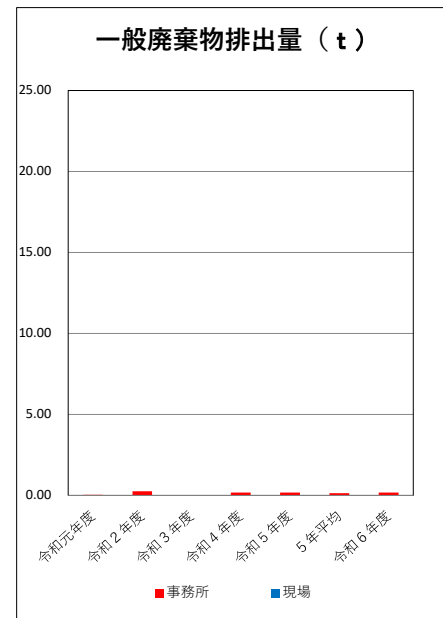
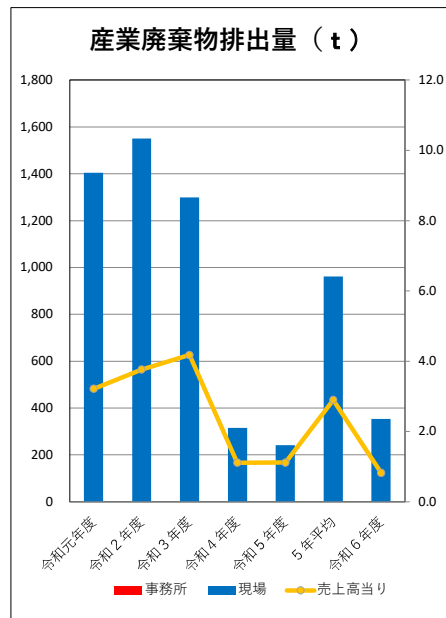
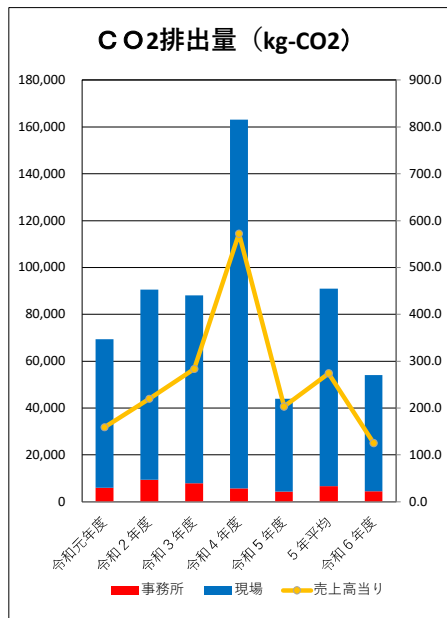
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	5年平均	令和6年度
		実績	実績	実績	実績	実績	R1～R5	実績
売上高(百万円)		437	412	311	285	216	332	432
灯油使用量(L)	事務所	146	180	144	56	0	105	0
	現場	277	212	0	0	0	98	0
	総量	423	392	144	56	0	203	0
	売上高当り	1.0	1.0	0.5	0.2	0.0	0.6	0.0
電力使用量(kWh)	事務所	5,913	6,049	5,637	5,872	5,242	5,743	5,539
	現場	4,248	10,620	4,258	77,194	6,334	20,531	976
	総量	10,161	16,669	9,895	83,066	11,576	26,274	6,515
	売上高当り	23.3	40.5	31.8	291.5	53.6	79.1	15.1



過去（平成28年6月～令和4年5月）の実績②

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	5年平均	令和6年度	
		実績	実績	実績	実績	実績	R1~R5	実績	
売上高(百万円)		437	412	311	285	216	332	432	
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	事務所	5,968	9,358	7,838	5,647	4,271	6,616	4,460	
	現場	63,467	81,143	80,223	157,447	39,633	84,383	49,590	
	総量	69,435	90,501	88,061	163,094	43,904	90,999	54,050	
	売上高当り	158.9	219.7	283.2	572.3	203.3	274.1	125.1	
産業廃棄物	収集運搬量(t)	93	0	0	0	0	0	0	
	排出量(t)	事務所	0	0	0	0	0	0	0
		現場	1,405	1,551	1,299	316	241	962	354
		総量	1,405	1,551	1,299	316	241	962	354
		売上高当り	3.2	3.8	4.2	1.1	1.1	2.9	0.8
	再資源化率(%)	99.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	5年平均	令和6年度	
		実績	実績	実績	実績	実績	R1~R5	実績	
売上高(百万円)		437	412	311	285	216	332	432	
一般廃棄物	排出量(t)	事務所	0.044	0.260	0.020	0.186	0.189	0.140	0.185
		現場	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
		総量	0.044	0.260	0.020	0.186	0.189	0.140	0.185
再資源化率(%)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
用水使用量(m ³)		事務所	47	43	41	46	24	40	12
		現場	154	193	48	27	0	84	0
		総量	201	236	89	73	24	124	12
		売上高当り	0.5	0.6	0.3	0.3	0.1	0.4	0.0
環境負荷の少ない工事件数(%)		15/15	25/25	29/29	13/13	11/11	19/19	12/12	



8. 環境経営計画の取組結果とその評価

8-1. 環境経営計画の取組結果とその評価

期間：令和6年6月1日～令和7年5月31日

項目		活動内容		取組結果	見直し
CO ₂ 排出量削減	燃料使用量削減	・アイドリングストップ	○	意識して取り組めた。	今後も継続して取り組んでいく。
		・エコドライブ(急発進・急加速・急ブレーキ等防止)	○		
		・環境にやさしい買い物キャンペーン2024への参加	○	実施できた。	
		・協力業者へのアイドリングストップ・エコドライブの呼びかけ	○	実施できた。	
		・重機不使用時のエンジン停止の徹底	○	実施できた。	
		・建設車両等自主点検・整備の実施	○	意識して取り組めた。	
		・過積載防止	○		
	電力使用量削減	・エアコンの温度設定：冷房 28℃、暖房 20℃	○	意識して取り組めた。	
		・扇風機を優先的に使用	○		
		・エアコンフィルターの定期清掃	○	実施できた。	
・非作業箇所の電灯の消灯		○	実施できた。		
・照明器具の定期清掃		○	意識して取り組めた。		
用水使用量削減 (排水量削減)	・蛇口の締め忘れの確認	○	意識して取り組めた。	今後も継続して取り組んでいく。	
	・現場での地下水・用水などの有効利用	○			
産業廃棄物排出量削減	・3S活動を進め、資材置き場での資材の定位置・定量化を推進	○	意識して取り組めた。	今後も継続して取り組んでいく。	
	・余剰資材の活用(余剰品登録)	○			
	・分別徹底とリサイクル	○			
	・再資源化処理業者に委託	○	実施できた。		
一般廃棄物排出量削減	・書類作成時の1枚ベスト・2枚ベター指導・一般廃棄物の計測	○	意識して取り組めた。	今後も継続して取り組んでいく。	
	・両面コピー、裏紙使用、コピー枚数削減・使用済封筒の再利用	○			
	・社内文書の電子化	○			
	・分別徹底とリサイクル	○			
グリーン購入	・エコマーク商品の調査	○	実施できた。	今後も継続して実施していく。	
	・エコマーク商品の優先購入	○			
地域活動	・事業所周辺の定期清掃	○	ロードボランティアと同日に実施した。	今後も継続して実施していく。	
	・地元の清掃活動への積極的な参加	○	参加した。		
	・ロードボランティアの実施	○	R6.10月～R7.2月、4月～5月までの計15回実施した。		
環境負荷の少ない工事を実施	・低騒音・排出ガス対策型重機の使用	○	重機が必要な工事では全て対策型重機を使用した。	今後も継続して実施していく。	
	・型枠・工事看板への間伐材の使用	○	木製看板に高知県産間伐材を使用した。		
	・濁水防止対策の実施	○	排水時に沈殿池を設けた。		
	・環境負荷の少ない材料の使用	○	リサイクル製品や県産品を積極的に使用した。		

※1 ○取組できた △取組が十分でなかった ×取組できなかった

※2 環境管理責任者が3ヶ月に1度の環境会議内容から年間の評価をした。

8-2. 取組状況①



●節水表示

蛇口の近くに節水シールを貼り、節水に努めています。

●ゴミの分別

ゴミの種類を表示し、ゴミの分別に努めています。



●LED照明設置

本社事務所のLED照明を更新しました。
(令和5年8月)

●本社エアコンの更新

本社事務所のエアコンを更新しました。
(令和5年8月)



●裏紙の再利用

ミスコピー等の裏紙を再利用しています。

8-2. 取組状況②



●ロードボランティア

年10回以上、本社事務所周辺の道路清掃を行っています。

●低騒音・排出ガス対策型重機

当社所有の低騒音・排出ガス対策型重機。



●工事看板への間伐材の使用

高知県産間伐材使用の木製看板

●現場での一般廃棄物の分別

現場に設置する一般廃棄物カゴと灰皿。



9. 次年度の環境経営目標と環境経営計画

9-1. 令和7年度の環境経営目標

(1) 単年度目標

		過去5年 平均(基準) R1.6~R6.5	令和7年度 目標 R7.6~R8.5
完成工事高(百万円)		332	-
ガソリン使用量(L)		5,075 (15.3)	4,970 (15.0)
軽油使用量(L)		25,056 (75.5)	24,550 (73.9)
灯油使用量(L)		203 (0.61)	200 (0.60)
電力使用量(kWh)		26,274 (79.1)	25,750 (77.6)
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)		88,792 (267.4)	87,020 (262.1)
用水使用量(m ³)		124 (0.37)	120 (0.36)
産業廃棄物	排出量(t)	962 (2.90)	940 (2.83)
	再資源化率(%)	100.0%	100.0%
一般廃棄物	排出量(t)	0.140	0.140
	再資源化率(%)	100.0%	100.0%
環境負荷の少ない工事件数(件)		19/19	全件

※()内の数値は原単位(完成工事高百万円当り数量)を表す。

※購入電力のCO₂排出係数は、令和6年8月28日公表の四国電力の調整後排出係数0.451kg-CO₂/kWhを使用した。

※環境負荷の少ない工事件数

低騒音・排出ガス対策型重機の使用、型枠・工事看板への間伐材の使用、濁水防止対策の実施、
環境負荷の少ない材料の使用等

※化学物質は使用がないため目標設定なし

(2) 中長期目標

		過去5年 平均(基準) R1.6~R6.5	令和7年度 目標 R7.6~R8.5	令和8年度 目標 R8.6~R9.5	令和9年度 目標 R9.6~R10.5	令和10年度 目標 R10.6~R11.5
ガソリン使用量(L)		5,075	4,970	4,920	4,870	4,820
軽油使用量(L)		25,056	24,550	24,300	24,050	23,800
灯油使用量(L)		203	200	200	190	190
電力使用量(kWh)		26,274	25,750	25,490	25,220	24,960
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)		88,792	87,020	86,130	85,240	84,350
用水使用量(m ³)		124	120	120	120	120
産業廃棄物	排出量(t)	962	940	930	920	910
	再資源化率(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
一般廃棄物	排出量(t)	0.140	0.140	0.140	0.130	0.130
	再資源化率(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
環境負荷の少ない工事件数(件)		19/19	全件	全件	全件	全件

9-2.令和7年度の環境経営計画

期間：令和7年6月1日～令和8年5月31日

項 目		活 動 内 容	担 当 者
CO ₂ 排出量 削減	燃料使用量 削減	<ul style="list-style-type: none"> ・アイドリングストップ ・エコドライブ(急発進・急加速・急ブレーキ等防止) ・環境にやさしい買い物キャンペーン2025への参加 ・協力業者へのアイドリングストップ・エコドライブの呼びかけ 	環境管理責任者
		<ul style="list-style-type: none"> ・重機不使用時のエンジン停止の徹底 ・建設車両等自主点検・整備の実施 ・過積載防止 	現場責任者
	電力使用量 削減	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコンの温度設定 ・事務所：冷房 28℃、暖房 20℃ ・扇風機を優先使用 ・エアコンフィルターの定期清掃 ・非作業箇所の電灯の消灯 ・照明器具の定期清掃 	事務所責任者
用水使用量削減 (排水量削減)		<ul style="list-style-type: none"> ・蛇口の締め忘れの確認 ・現場での地下水・用水などの有効利用 	事務所・現場責任者
産業廃棄物排出量削減		<ul style="list-style-type: none"> ・3S(整理・整頓・清掃)活動を進め、資材置き場での資材の定位置・定量化を推進 ・余剰資材の活用(余剰品登録) ・分別徹底とリサイクル ・再資源化処理業者に委託 	現場責任者
一般廃棄物排出量削減		<ul style="list-style-type: none"> ・書類作成時の1枚ベスト・2枚ベター指導・一般廃棄物の計量 ・両面コピー、裏紙使用、コピー枚数削減・使用済封筒の再利用 ・社内文書の電子化 ・分別徹底とリサイクル 	事務所責任者
グリーン購入		<ul style="list-style-type: none"> ・エコマーク商品の調査 ・エコマーク商品の優先購入 	事務所責任者
地域活動		<ul style="list-style-type: none"> ・事務所周辺の定期清掃 ・地元の清掃活動への積極的な参加 ・ロードボランティアの実施 	環境管理責任者
環境負荷の少ない工事 の実施		<ul style="list-style-type: none"> ・低騒音・排出ガス対策型重機の使用 ・型枠・工事看板への間伐材の使用 ・濁水防止対策の実施 ・環境負荷の少ない材料の使用 	現場責任者

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等

法律等の名称及び適用条項		規制内容	遵守評価
廃棄物処理法	第3条	事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	○適・否
	第12条の三	産業廃棄物管理票(マニフェスト)の交付	○適・否
	第12条の三 第7項	マニフェスト交付状況報告書の作成及び提出	○適・否
	第12条 第9項・第10項	前年度に産業廃棄物発生量が1000t以上である多量排出事業者は都道府県知事に報告	○適・否
	第14条	産業廃棄物の収集運搬業を行おうとする者は、当該区域の都道府県知事の許可を受ける	○適・否
廃棄物処理法施行令	第6条の二	当該区域の都道府県知事の許可を受けた者と委託契約	○適・否
	第6条 第1項イ	産業廃棄物運搬車の外側に名称等の明示・書面の備え付け	○適・否
廃棄物処理法施行規則	第8条	産業廃棄物の保管場所に掲示板を設置	○適・否
資源有効利用促進法	第4条	建設副産物のリサイクル(努力義務)	○適・否
	第34条	建設副産物の減量化・及びリサイクル(努力義務)	○適・否
	第27条	指定再資源化製品の自主回収・再生資源化に協力	○適・否
騒音規制法	第14条	特定建設作業の届出、規制値の遵守	○適・否
振動規制法	第14条	特定建設作業の届出	○適・否
特殊特定自動車排出ガスの規制等に関する法律	第12条	特定特殊自動車の表示	○適・否
低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程	第10条	指定機械の表示	○適・否
道路交通法	第77条	道路使用の所轄警察署長の許可	○適・否
	第78条	道路使用の所轄警察署長の許可の手續	○適・否
道路法	第32条	道路占用の許可	○適・否
浄化槽法	第11条	浄化槽の年1回の法定検査 浄化槽の定期清掃・定期点検	○適・否
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律	第5条	建設資材の発生抑制・建設資材廃棄物の再生資源化費用の低減	○適・否
フロン排出抑制法	第16条	簡易点検の実施	○適・否
高知県環境基本条例	第6条	公害防止、自然環境の保全、廃棄物の適正処理、環境への負荷の低減	○適・否
高知市環境基本条例	第5条		○適・否

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

令和6年6月1日～令和7年5月31日までの間、環境関連法規等の違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。

なお、過去3年間において、環境関連法規等の違反・訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。

11. 代表者による全体評価と見直しの結果

代表取締役 **大藤 友理**

見直しに必要な情報			
環境管理責任者の報告及び改善提案			
【取組状況の評価結果】 ①環境関連法規等の遵守状況 関連法規等への違反はなかった。			
②問題点の是正処置及び予防処置の状況 処置が必要な問題点はなかった。			
③外部からの環境に関する苦情や要望 苦情や要望はなかった。			
④前回までの代表者の指示事項への対応 なし。			
環境経営目標・活動計画の達成状況			
目標項目	目標値 達成状況	活動計画 達成状況	コメント
燃料使用量	×	○	施工期間が長い遠方の現場が複数あり、ガソリン使用量が増加した。
電力使用量	○	○	目標達成した。
CO ₂ 排出量	○	○	目標達成した。
用水使用量	○	○	目標達成した。
廃棄物排出量	○	○	目標達成した。
環境負荷の少ない工事	○	○	対策型重機の使用や再生資材の使用など、よく取り組んでいた。
代表者による見直し			
変更の必要性の有無		総括	
環境経営方針	(有) (無)	施工期間が長い遠方の工事が複数あったため、通勤に係るガソリン使用量が増加した。原因は明らかであるので、環境経営システムは有効に機能していると認められます。 ガソリン使用量削減を目標として、車両運転時には急加速や急減速をしないように心がけ、車に乗り合わせて通勤するなどの対策をするよう全社員に確認しました。 環境経営計画について、環境経営目標の基準値を直近5年の平均値に見直しました。 次年度も、さらなる目標に向かって社員一同環境活動に取り組んでいきます。	
環境経営目標	(有) (無)		
環境経営計画	(有) (無)		
環境管理組織体制	(有) (無)		
環境経営計画を着実に実行できたことにより、環境経営システムは有効に機能していると認められる。			

12. その他の取組

●高知県地球温暖化防止県民会議

高知県地球温暖化防止県民会議への入会と事業者部会への参加。

・交通エコポイント



交通エコポイント活用社会還元事業へ
寄付を行いました。
1万ポイント (CO2削減 10t相当)
令和2年9月

・おらんくのストップ温暖化宣言



●エコアクション21の継続

エコアクション21の認証登録より10年が経過し、中央事務局より感謝状を頂きました。

令和3年度



マテリアルフロー

令和6年6月～令和7年5月

